

6年間の独自カリキュラムと様々な学習環境の充実が大きい

M. K.

茨城大学 人文社会学部 人間文化学科 進学
水戸市立 稲荷第二小学校 卒業

中高一貫校である茨中・茨高は、独自の授業カリキュラムを組んでいます。中3で高校内容を学び始め、高3は教科書範囲を終わらせて、問題集を使った演習中心の授業が多くなるため、受験に備えるための期間が長いという利点があります。また放課後や長期休業中に行われる課外では、授業では扱わない問題を解いたりなどして、苦手範囲の克服や演習を積むことができます。さらに進路指導に関して、多くの先生方が受験に関する手厚いサポートをしてくれます。私は推薦入試と一般入試の両方を受けましたが、その際に志望理由書や小論文の添削や面接練習、赤本の過去問の添削を何度もしていただきました。志望理由書は最初上手く書くことができず、何度も書き直しましたが、その度にアドバイスをしてくれました。自分で記述問題の採点することが難しかったため、過去問の添削は大いに助かりました。第一志望の大学に合格できたのは、たくさん行った過去問添削の中で、自分の苦手な分野やその分野の勉強方法や得点の取り方を理解することができたからだと思っています。

私が、中高6年間で一番心に残っている思い出は、高校2年生の時の研修旅行です。コロナの影響で、中3の京都奈良への研修旅行は中止になってしまい、高2の海外への研修旅行も国内(広島・神戸・京都)になりました。中3の時は、計画を立てるだけとなってしまったので、以前から行きたいと考えていた場所に行けて良かったです。自分たちで予定を立てて京都を自由散策したり、深夜にトラップで遊んだりして友達と5日間ずっと一緒に過ごしたことは、忘れられない思い出になりました。

茨中・茨高の良いところは、1つ目は「環境が整っているところ」です。校内には、図書館や大ホール、室内温水プールなど、様々な施設があつてとても広がっています。特に勉強に集中できる自習室や多くの赤本や共通テストの問題集が置かれている進路指導室は、受験期に多く活用しました。2つ目は、「親身に指導してくれる先生方がいるところ」です。先生方は、授業や問題集、教科書の分からないところを質問すると丁寧に教えてくれて、分からなかったことを理解することができます。また受験勉強や進路で不安を感じ、相談をした時には、快く乗ってくれるなど、勉強以外のサポートもしていただき、心強くとても頼りになりました。

将来は、心理判定員になって障害者やその家族の支援を行いたいと考えています。そのためにも、大学で心理学を専攻して習得し、大学院に進学して公認心理師の資格を取得したいです。茨中・茨高で培った知識や考え方を活かし、これからも目標に向かって努力し続けていきたいと思っています。